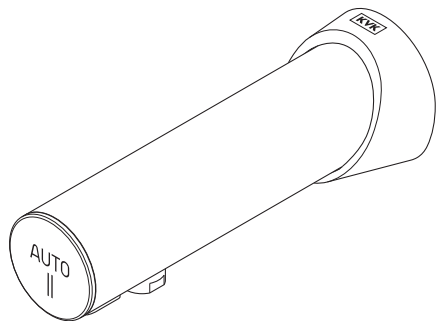


## 取扱説明書

## 自動水栓

品番 E1704 〈各仕様共通〉



- このたびは、当社商品をお買い上げいただきありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要な時にお読みください。
- 保証書に、販売店名・取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

安全上のご注意	1-6	はじめに
各部の名称	7	
ご使用前に	8	使いかた
使いかた	9	
乾電池の交換方法	10-11	
日常のお手入れ	12-15	お手入れ
定期的な点検	16	
定期的な部品交換	17	
故障かなと思ったら	18	こんなときは
仕様	19	
アフターサービス	20	
保証書		裏表紙

# 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告** 「死亡または重傷」に結び付く可能性があります。



**注意** 「傷害または物的損害」に結び付く可能性があります。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない「禁止」の内容です。



「分解禁止」の内容です。



「接触禁止」の内容です。



「水場使用禁止」の内容です。



必ず実行していただく「強制」の内容です。

けが  
破損  
漏水  
火災  
感電

記載事項を守らなかった場合に生じるおそれのある事態を示しています。

## 漏水をした場合の処置

漏水した場合は元栓、または止水栓をしめてください。  
ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。  
そして専門の業者に修理を依頼してください。

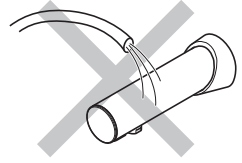
# 警告



禁止

火災  
感電

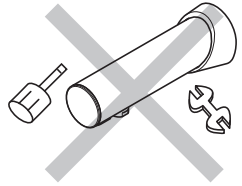
本体に水をかけないでください。  
火災や感電の原因になります。



禁止

けが  
破損  
漏水

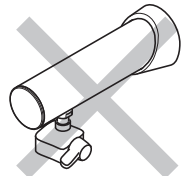
この商品を構成する部品以外の取り付けや、部品の取りはずし等の改造はしないでください。  
器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

漏水

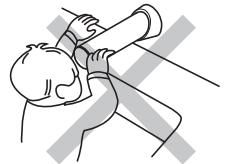
止水機構を持った市販浄水器具の取り付けはしないでください。  
逆流したり、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
また、吐水口のパッキンが摩耗し、寿命が短くなることがあります。



禁止

けが

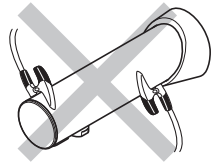
小さいお子様だけの使用は避けてください。  
けがをするおそれがあります。



禁止

破損  
漏水

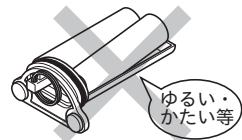
配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓(給水管含む)には絶対に通電しないでください。  
通電すると水栓や給水管が発熱し、破損して漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

火災  
感電

乾電池の取り付けがゆるい場合や、かたい場合は使用しないでください。  
火災や感電の原因になります。



はじめて

# 警告



禁止

火災

指定する電源(単3アルカリ乾電池)以外では使用しないでください。また、充電式乾電池は使用しないでください。

火災の原因になります。  
充電式乾電池を使用した場合、使用可能な期間が短くなります。



単3アルカリ  
乾電池以外・  
充電式乾電池

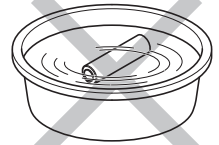


禁止

火災

感電

乾電池を水の中に入れてください。  
感電・ショート・火災の原因になります。

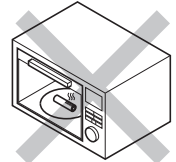


禁止

火災

乾電池を加熱したり、火中に投げ入れ  
ないでください。

火災の原因になります。



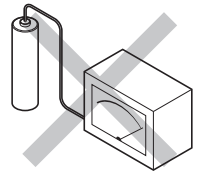
禁止

破損

火災

乾電池を充電しないでください。

火災や故障の原因になります。



分解禁止

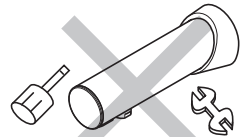
けが

破損

漏水

分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。

器具が破損し、けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



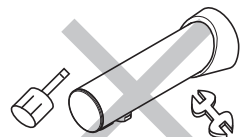
分解禁止

火災

感電

分解したり、修理・改造はしないでください。

火災や感電の原因になります。



# 警告

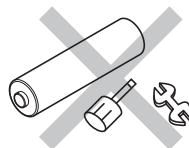


分解禁止

破損  
火災

乾電池を分解したり、加工・改造はしないでください。

漏電・破裂・火災・故障の原因になります。

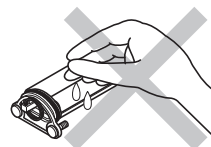


接触禁止

感電

濡れた手で乾電池を交換しないでください。

感電の原因になります。

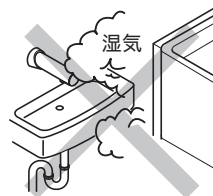


水場使用  
禁止

破損  
感電

浴室などの湿気の多い場所には設置しないでください。

故障や感電のおそれがあります。



は  
じ  
め

# ⚠ 注意

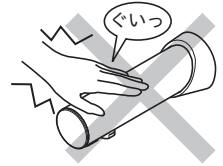


禁止

けが  
破損  
漏水

器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。

器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

破損  
漏水

器具に強い力や衝撃を与えないでください。

器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

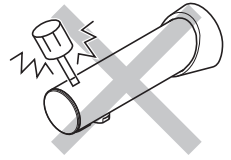


禁止

けが

めっき部品はぶついたり落としたりしないでください。

鋭利な物や硬い物を当てないでください。めっきの表面が割れてけがをするおそれがあります。



禁止

破損

センサー面を傷つけないようにしてください。

器具が破損したり、誤作動するおそれがあります。

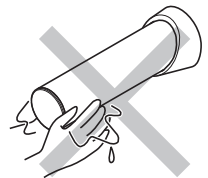


禁止

漏水  
火災  
感電

使用するときは、本体の吐水部をふさが

ないでください。吐水部から水が浸入し、漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。また、内蔵のセンサー・配線等が浸水し、火災・感電・故障の原因になります。



禁止

破損  
火災  
感電

トイレ用洗剤・住宅用洗剤・漂白剤・ベンジン・シンナー・トイレ用ウェットティッシュ・クレンザー・クレゾールを使用しないでください。

発火・ショート・感電・故障の原因となります。



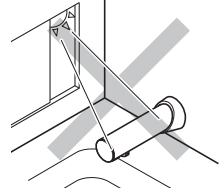
# ⚠ 注意



禁止  
破損

直射日光が当たる場所でのご使用はおやめください。

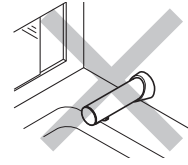
誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



禁止  
漏水  
破損

屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。

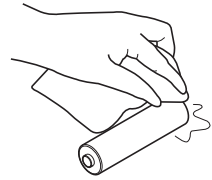
器具が破損して、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行  
破損

乾電池の液が漏れたときは、液をきれいに拭き取ってください。万一、液が体に付いたときは、水でよく洗い流してください。漏液した乾電池は使用しないでください。

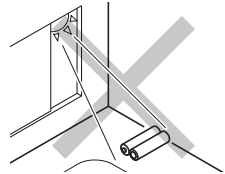
漏れた液をきれいに拭き取らないと、故障の原因となります。



必ず実行

乾電池は直射日光・高温多湿を避けて保管してください。

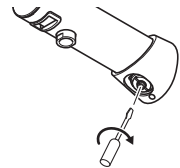
湿度が高いと乾電池に露(水分)が付き、ショートすることがあります。また、高温下に長い間放置すると性能が低下します。



必ず実行  
漏水

ストレーナの清掃は止水弁で必ず水を止めてから行ってください。

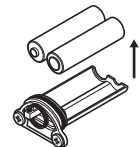
水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行  
破損

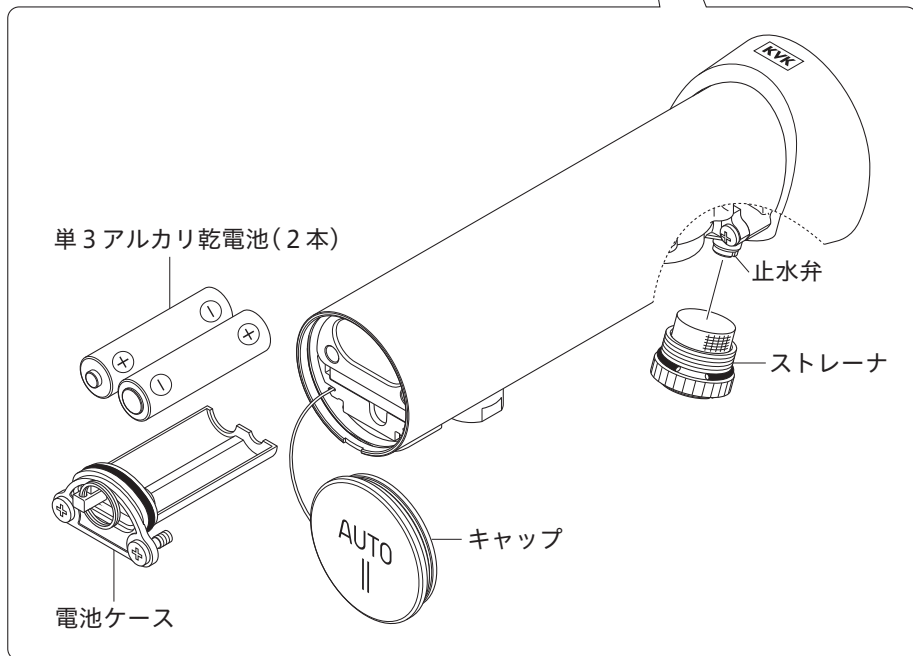
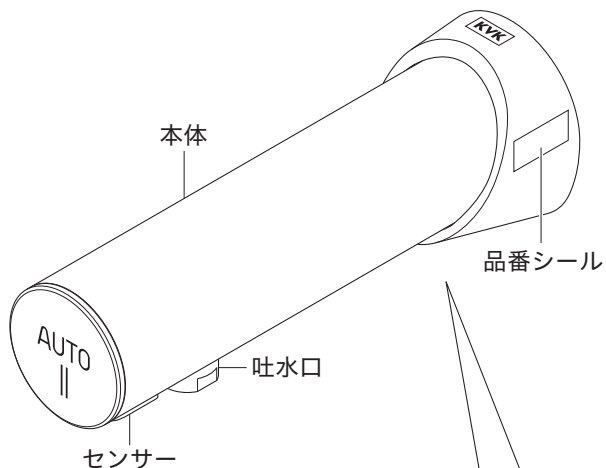
長期間使用しない場合は、電池ケースから乾電池を抜いてください。

誤作動や故障などによる、予想しない事故の原因になります。



# 各部の名称

品番によっては、図と形状が一部異なります。



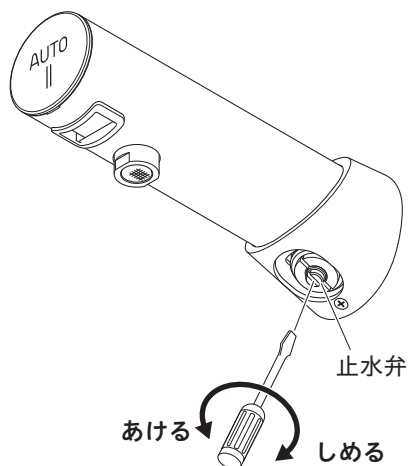
はじめて



# || ご使用の前に

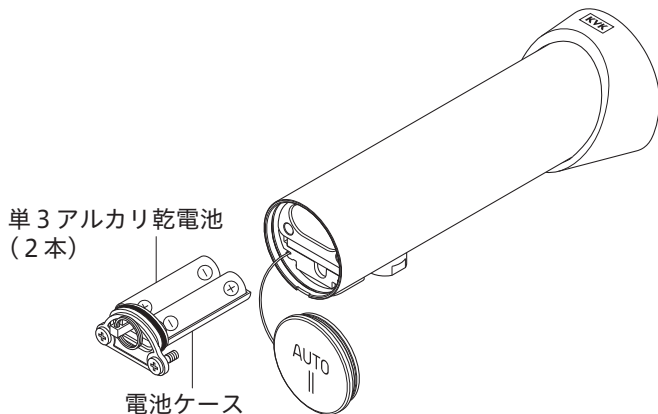
## 1 流量の調節方法

下記の方法で止水弁を操作して流量の調節をしてください。  
時計回りに回すと流量が少なくなり、いっぱいまで回すと止水します。  
また、反時計回りに回すと流量が多くなり、いっぱいまで回すと最大流量となります。



## 2 乾電池の確認

乾電池が電池ケースに正しく取り付けられていることを確認してください。  
※同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取り替えください。



使  
い  
か  
た

# || 使いかた

## 1 水を出す・止める

### 水を出す

センサー部に手を近づけます。

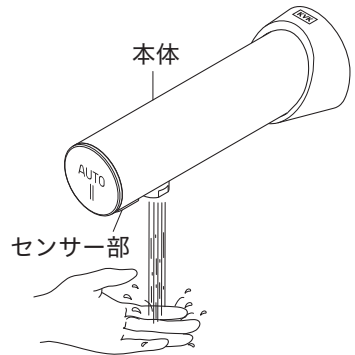
本体のセンサー部に手を近づけると、自動的に吐水します。

### 水を止める

センサー部から手を離します。

本体のセンサー部から手を離すと、自動的に止水します。

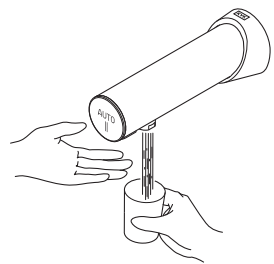
約60秒間連続して感知すると自動的に止水します。再び吐水させたいときは、一度手を離して再度近づけてください。



下記のような材質や色・形状によってはセンサーが感知しない、または感知しにくい場合があります。

- 赤外線透過するガラスなどでできたコップや花瓶
- ステンレス製およびめっきを施したコップなど
- 黒っぽい色のもの

※センサーが感知しにくい場合はセンサー部に手をかざしてご使用ください。



### ご使用時のお願い

- 使用するときは、本体の吐水部をふさがないでください。

吐水部から水が浸入し、漏水により家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

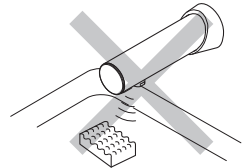
また、内蔵のセンサー・配線等が浸水し、火災・感電・故障の原因になります。



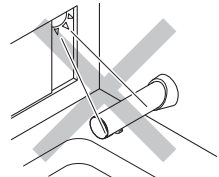
- センサー感知距離内に障害物が入らないようにしてください。

誤作動の原因になります。

また、インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。



- 直射日光が当たらないところに設置してください。



# ■ 乾電池の交換方法

## 乾電池寿命について

乾電池は単3 アルカリ乾電池 2 本を使用しており、4000回／月の使用頻度で約 2 年間使用できます。使用環境によって電池寿命は変動します。



**注意**

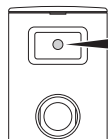
乾電池を 2 年以上使用している場合はお早めに交換してください。  
乾電池の液が漏れ、故障の原因になります。

## 【お願い】

- ・必ずアルカリ乾電池を使用してください。
- ・充電式の乾電池は使用しないでください。
- ・新しい乾電池と古い乾電池、または異なる種類の乾電池は使用しないでください。
- ・使い切った乾電池は早めに取りはずしてください。
- ・乾電池に記載の注意事項をお守りください。

## 乾電池交換のお知らせ

乾電池が消耗すると、吐水しなくなりセンサー部の赤ランプが点滅します。  
新しい乾電池と交換をしてください。



赤ランプ点滅

手をかざしてから30回

使  
い  
か  
た

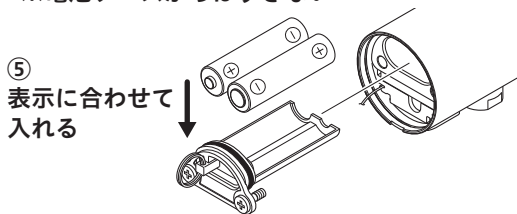
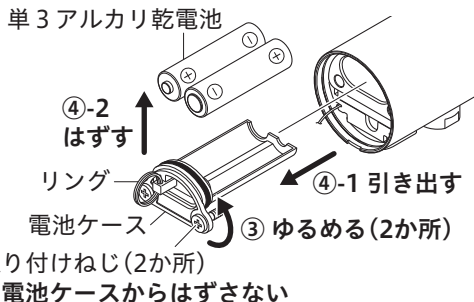
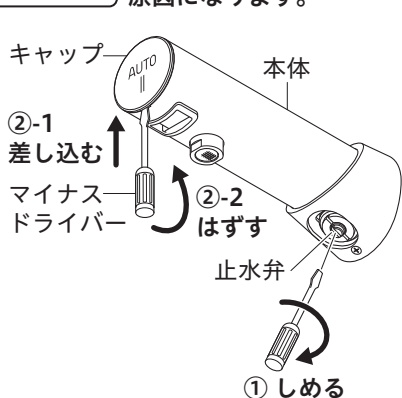
# 乾電池の交換方法

## 乾電池の交換方法

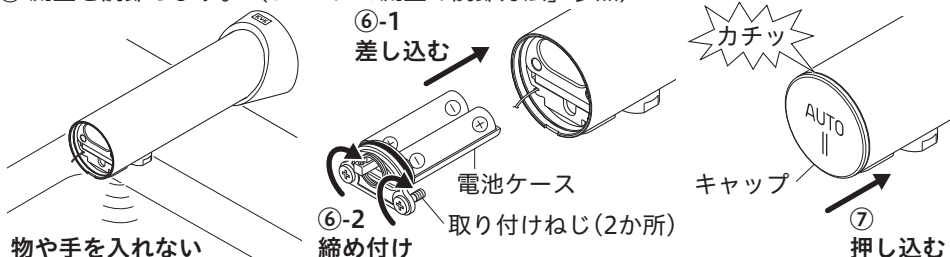
- ① 止水弁をしっかりしめます。
- ② 本体下面の溝にマイナスドライバーを差し込みひねって、キャップをはずします。
- ③ プラスドライバーで電池ケースの取り付けねじ(2か所)を緩めます。  
※取り付けねじは電池ケースからはずれません。無理に取りはずさないでください。
- ④ リングを引っ張り、電池ケースを引き出し、使用済みの乾電池を取り出します。  
(使用済み乾電池は不燃ゴミとして各地域のゴミの回収・収集規定に従って処理してください。)
- ⑤ 電池ケースに新品の単3アルカリ乾電池2本を入れます。

【お願い】 乾電池の方向は電池ケース内の表示に合わせてください。

**注意** 電池ケース内に水が入らないようにしてください。感電・ショート・火災の原因になります。



- ⑥ 電池ケースを本体に差し込み、取り付けねじ(2か所)を締め付けます。  
【お願い】 電池ケースを差し込むときに、センサーに手をかざしたり、陶器内に物を置いたりしないでください。(20秒程度)
- ⑦ 「AUTO」の文字が上下正しくなる向きに合わせて、キャップを本体に「カチッ」と音がするまで押し込んでください。
- ⑧ 流量を調節します。(8ページ「流量の調節方法」参照)



# 日常のお手入れ

## 1 お手入れ方法

### 軽い汚れの場合

汚れは柔らかい布やスポンジで水洗いしてから、乾いた布で拭き取ります。

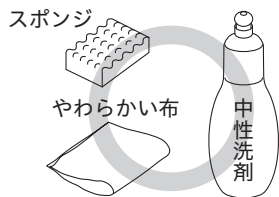
### ひどい汚れの場合

中性洗剤をぬるま湯でうすめて、柔らかい布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で拭きします。

### 使ってはいけないもの

水栓には樹脂部品が多く使用されているため、シンナー・アセトン・ベンジン・カビトリ剤・酸性・アルカリ性系・塩素系洗剤等は使わないでください。金たわし・みがき粉等は外観にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。

【お願い】メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部分をこすらないようにしてください。



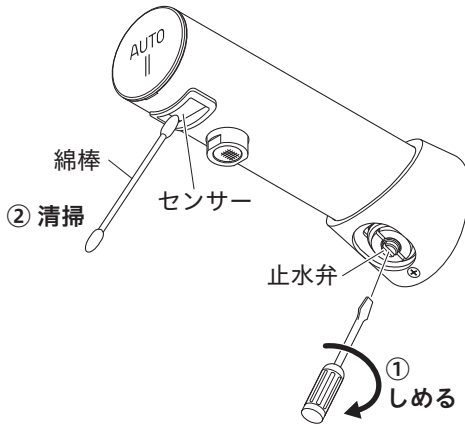
# 日常のお手入れ

## 2 センサーのお手入れ方法

センサーは半年に1回程度、定期的に清掃してください。  
センサーの表面に水アカなどが付着すると感知しにくくなります。

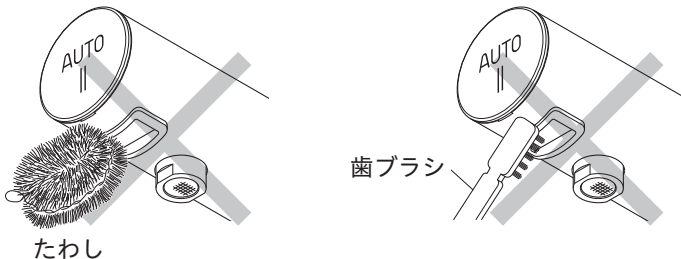
- ① 止水弁をしめます。
- ② 水またはぬるま湯に浸した綿棒で汚れを拭き取ります。  
ひどい汚れの場合は、中性洗剤をぬるま湯でうすめたものを綿棒に浸し汚れを拭き取った後、水拭きしてください。

【お願い】センサーの表面に傷をつけないようにお手入れをしてください。



### 使ってはいけないもの

たわし・歯ブラシ等はセンサー表面にキズが入るおそれがありますので、使わないでください。



# 日常のお手入れ

## 3 ストレーナ・泡まつ器の清掃方法

### ストレーナ清掃方法

ストレーナは定期的に清掃してください。

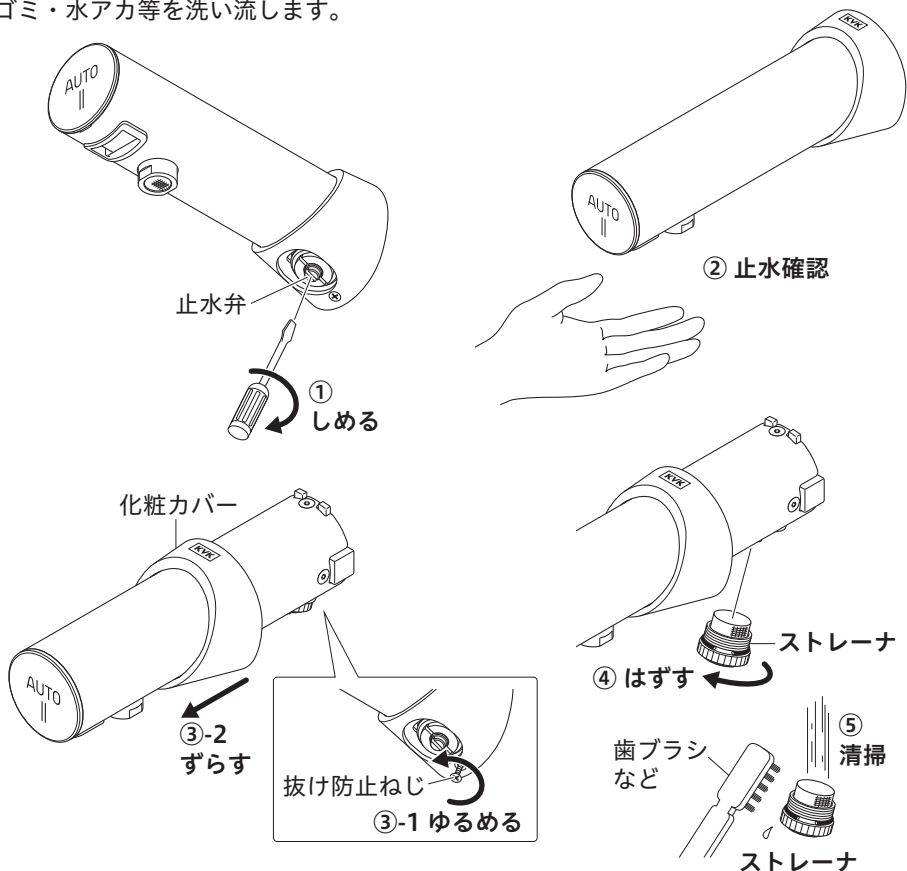
ストレーナにゴミ等がつかりますと、吐水量が減る場合があります。



**注意**

ストレーナの清掃は、止水弁で必ず止水してから行ってください。  
ストレーナをいきなり開けますと水漏れにより家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① 止水弁をしっかりしめます。
- ② 手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。
- ③ 抜け防止ねじをゆるめ、化粧カバーを手前へずらします。
- ④ ストレーナを取りはずします。
- ⑤ ゴミ・水アカ等を洗い流します。



お手入れ

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

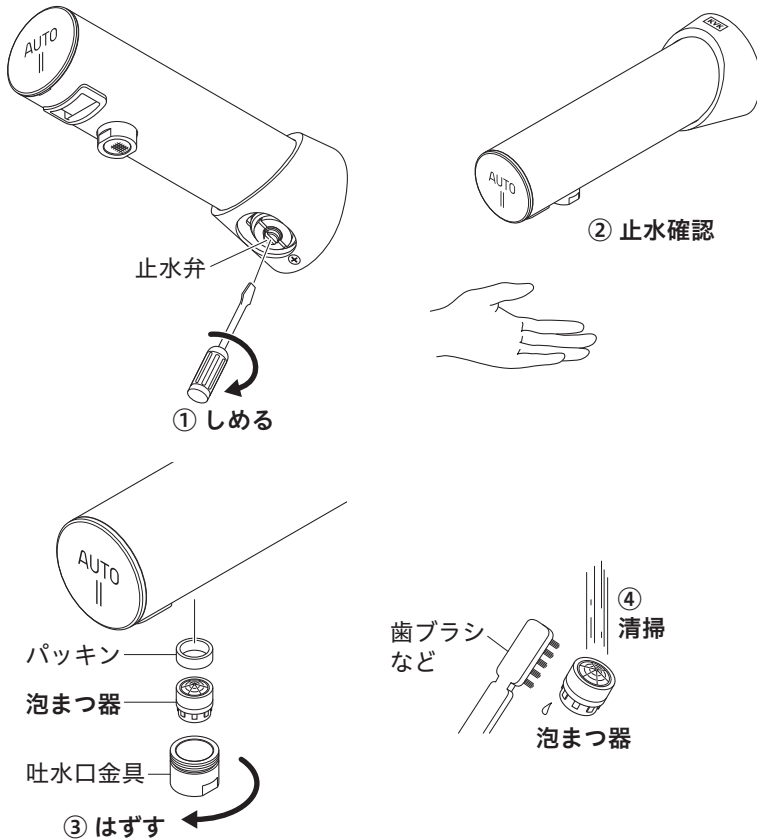
# 日常のお手入れ

## 泡まつ器清掃方法

泡まつ器は定期的に清掃してください。

泡まつ器にゴミ等がつかりますと、吐水量が減る場合があります。

- ① 止水弁をしっかりしめます。
- ② 手を差し出してセンサーを感知させ、水が出ないことを確認します。
- ③ 吐水口金具をはずし、泡まつ器を取りはずします。
- ④ ゴミ・水アカ等を洗い流します。



お手入れ

清掃後は、はずした逆の手順で組み立ててください。

吐水口金具は手締めにて締め付けを行ってください。

吐水口金具を軽く締め付けた後、約3/4回転(270度)の増し締めとなります。

(締め付けトルクの目安は約40N・cm)

手で取りはずしにくい場合は、吐水口金具の二面幅に工具をかけて取りはずしてください。

【お願い】 吐水口金具を締め付ける際は、締め付け過ぎないでください  
締め付けすぎると部品が破損するおそれがあります。

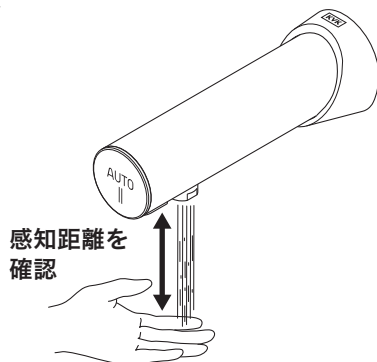


# 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検を行ってください。

## センサーの感知(1週間に1～2回程度)

使い始め当初より感知距離が短くなってきたら、センサー表面が汚れている可能性があります。センサー表面のお手入れを行ってください。(13ページ「センサーのお手入れ方法」参照)



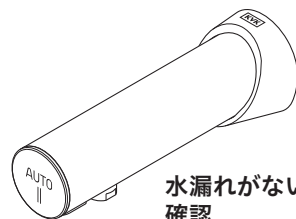
## 配管まわりからの水漏れ(1か月に1回程度)



**注意**

配管まわりから水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・摩耗などにより継続的な漏水につながり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがありますので、配管まわりの点検を行ってください。



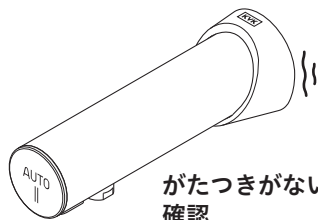
## 水栓取り付け部のがたつき(1か月に1回程度)



**注意**

水栓取り付け部のがたつきがないか確認してください。

がたついたままお使いになると、配管に負担がかかり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

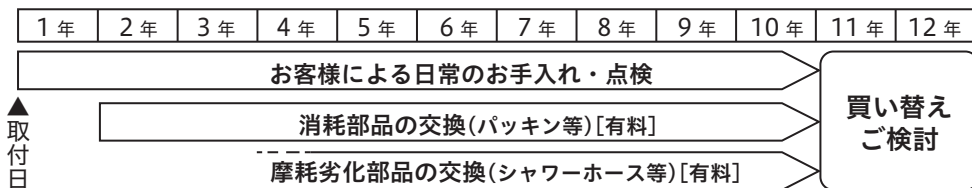


お手入れ

# 定期的な部品交換

安全・快適にご使用いただくために、定期的に部品交換を行ってください。  
(部品は水栓の種類によって異なります。)

使用年数



## 部品の交換

部品が摩耗劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。

・摩耗劣化部品の例(水栓の種類によって異なります)

例)カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等



**注意**

安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。

逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。

(逆止弁は仕様により付いていないものがあります。逆止弁の位置は7ページ「各部の名称」をご覧ください。)

部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

## 補修部品の供給期間

この製品の補修用部品(機能維持に不可欠な部品)の供給期間は製造中止後10年です。

# 故障かなと思ったら

次のような現象は故障ではありません。  
修理を依頼される前に下記の表に従ってもう一度お確かめください。

現象	お調べいただくところ	処置	参照ページ
水が出ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ 「流量の調節方法」
	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	13ページ 「センサーのお手入れ方法」
	センサーの前に障害物はありませんか	障害物を取り除く	9ページ 「水を出す・止める」
	乾電池は電池ケースに正しく取り付けられていますか	乾電池を正しく取り付け	10～11ページ 「乾電池の交換方法」
	断水中ではありませんか	回復するまで待つ	—
	乾電池の消耗により赤ランプが点滅していませんか	乾電池を交換する	10～11ページ 「乾電池の交換方法」
	ストレーナ・泡まつ器にゴミ等がつかまっていませんか	ストレーナ・泡まつ器を清掃する	14・15ページ 「ストレーナ・泡まつ器の清掃方法」
直射日光は当たっていませんか	直射日光が当たらないように遮光方法を検討してください	—	
吐水量が少ない	止水弁は十分に開いていますか	止水弁を開ける	8ページ 「流量の調節方法」
	ストレーナ・泡まつ器にゴミ等がつかまっていませんか	ストレーナ・泡まつ器を清掃する	14・15ページ 「ストレーナ・泡まつ器の清掃方法」
吐水が飛び散る	泡まつ器にゴミ等がつかまっていませんか	泡まつ器を清掃する	15ページ 「泡まつ器清掃方法」
水が止まらない	センサーの表面が汚れていませんか	汚れを取る	13ページ 「センサーのお手入れ方法」
	センサーの前に障害物はありませんか	障害物を取り除く	9ページ 「水を出す・止める」
万一、上記の箇所を調べてみても水が止まらない場合は、止水弁をしめてください。			

## 水栓本体内部のメンテナンスをする場合



**注意** 修理技術者以外の人は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因となります。水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

こんなときは

# 仕様

使用電源	アルカリ乾電池 単3×2本
使用流体	1～40℃の上水道水(氷結、ゴミ等の混入が無い事)
使用環境	温度 1～40℃
	湿度 90%以下
給水圧力	最低必要水圧：0.05MPa(動水圧)
	最高水圧：0.75MPa(静水圧)
吐水流量	止水弁による流量調節可能
センサ方式	赤外線反射方式
乾電池寿命	4000回/月の使用頻度として約2年(省エネモード12時間/日使用時) (Panasonic製 EVOLTA使用、使用環境室温20℃時) 使用環境によって電池寿命は変動します

※同梱されている乾電池は動作確認用です。お早めに新しい乾電池にお取り替えください。

## 省エネモード

使用間隔が20分以上あると、省エネモードに切り替わり、センサーの応答速度が遅くなります。一度使用すると省エネモードは解除され、元の応答速度に戻ります。

# アフターサービス

## 保証書（この説明書の裏表紙が保証書になっています）


- この商品は保証書の内容に従って保証されています。  
取付日、販売店名が記入してあることを確認してください。  
また、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は、取付日から1年間です。

## 保証について

- 保証期間中は  
保証書の内容に従って、修理をさせていただきます。  
保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。
- 保証期間を過ぎている場合  
修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

## 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください

- 修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

 **0120-474-161** 受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00

携帯電話からは、 **0570-021-110**をご利用ください。（受付時間 9:00～17:00）

※通話料がかかります。

※固定電話からはつながりません。

## 水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。シールの左下が品番です。

[シールの貼付位置は「各部の名称」をご覧ください]

## 修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

**技術料** …診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用

**部品代** …修理に使用した部品代

**出張料** …製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

## 商品に関するお問い合わせはKVKお客様ご相談センターにご依頼ください

 **0570-099-552**

受付時間 平日9:00～12:00、13:00～17:00（夏期休暇、年末年始を除く）

こんなときは

# Memo

---

---

# Memo

---

---

# KVK 水栓金具保証書

用途  
一般家庭および  
パブリック用

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

取付日から下記期間中、故障が発生した場合は本書をご提示の上、KVK 修理受付センターに修理をご依頼ください。

取付日、販売店等の記入漏れがありますと無効になりますので、必ず記入の有無をご確認ください。

品番 E1704		保証期間	1 年	取付日	年 月 日
お客様	お名前	ふりがな			
	ご住所	〒□□□-□□□□			
	電話	( )			
	ご販売店	店名	〒□□□□-□□□□		
		ご住所	( )		
		電話	( )		

- 取扱説明書、取扱表示プレート等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で表記の保証期間内に不具合の生じた場合は無料修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
  - 用途以外に使用した場合の故障および損傷等の不具合。
  - 専門業者や施工説明書等に基づかない施工に起因する不具合。
  - 使用・維持管理上の誤りおよび不当な修理や改造に起因する不具合。
  - 専門業者以外による移動・修理・分解等に起因する不具合。
  - 建築躯体の変形等商品以外の不具合に起因する当該品の不具合。
  - 表面仕上げの経年変化、使用に伴う摩耗等により生じる外観上の不具合。
  - 特殊な水質、気温、その他特殊な環境下での使用における不具合。
  - 砂やごみ、給水・給湯配管の錆等の異物流入および水あかの固着に起因する不具合。
  - 凍結に起因する不具合。
  - 屋外での使用による不具合。
  - こまパッキン等の消耗部品の消耗・劣化に起因する不具合。
  - ねずみ等の小動物や昆虫等の行為に起因する不具合。
  - 火災、地震、風水害、その他の天災地変または戦争、暴動等破壊行為による不具合。
  - 本保証書のご提示がない場合。
  - 本保証書にお客様名、販売先名および取付年月日の記載がない場合。
  - 浄水器水栓において、浄水カートリッジ（消耗品）は保証の対象外になります。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan) (本書仅限于日本国境内有効。)
- この保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保存してください。
- この保証書において無料修理をお受けになる場合は、KVK 修理受付センターにご連絡ください。

## ●サービスメモ

.....

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は取付店・販売店またはKVK 修理受付センターにお問い合わせください。